

NPO法人 京都ワーキング・サバイバーと本学学生が、がんと就労に関する冊子を制作しました

若い年代でもがんになる人が多く、がんに対して関心を持ってもらおうと、NPO法人 京都ワーキング・サバイバーと本学学生が、がんと就労に関する冊子「『私には関係ない』と思ってる？ 若いあなたに知ってほしい がん×働く」を制作しました。

本学からは、河瀬雅紀教授（現代人間学部心理学科）・中村千珠氏（非常勤講師）・はあとふるノートルダム（河瀬ゼミ生・大学院生他）が参加し、「どのようにしたら若者に伝わるのか」など意見を出し合い、冊子の内容やデザインに工夫を凝らしました。

この取り組みは、読売新聞（2018年2月3日(土)朝刊）にも取り上げられました。

読売新聞 YOMIURI ONLINE でも読むことができます。

YOMIURI ONLINE [「がん×働く」 若者関心を](#)